

# 名作・話題作の舞台は「わがまち」!

～映像の力が開く地域の新たな可能性～

埼玉県産業労働部観光課 主幹 島田 邦弘

## 1 フィルムコミッションとは

「フィルムコミッション」(以下、「FC」という。)という言葉をお聞きになったことはありますか?これは、映画やドラマ等の撮影を支援するため、撮影場所を映像制作会社に紹介したり、撮影スタッフ向けの弁当(いわゆるロケ弁)の手配等の活動を行う機関のことです。時には、映画等に出演するエキストラの募集や調整を行うこともあります。

実は、埼玉県におけるFC活動は大変活発で、県内におけるFCの数は17団体(平成21年7月現在)と、全国一位となっています。ここ数年、各市町村や商工団体等が主体となった地域レベルでのFC設立が進み、平成18年度末に5団体であったものが、約3年で3倍以上に急増しました。では、その理由は何でしょうか?

地域で映画等が撮影される際の主な効果としては、以下の3点が上げられます。

- ①映像での露出による集客効果
- ②撮影隊受入による経済効果
- ③地域振興、まちおこし効果

まず、①については川越市の例があります。もともと、蔵造りの街並みや菓子屋横町など県内有数の観光地として名高い川越市ですが、NHKドラマ「つばさ」の舞台となったことでマスコミへの露出が増え、より多くの観光客が訪れるようになりました。

次に②ですが、宿泊費やロケ弁代といった一般的な経費のほかに、大規模なロケセットを建築して撮影する場合には、地域経済への波及効果は膨大なものとなります。川口市のSKIPシティで撮影が行われた映画「母べえ」(昭和初期の街並みを再現)や、映画「20

世紀少年」(近未来の歌舞伎町を再現)の場合には、ロケセット建築費を含めた経済波及効果は数億円と試算されています。

最後に③については、普段見過ごしがちな身の回りの風景が、映像で取り上げられることにより地域住民の意識向上等につながることで(地域資源の再評価)。いつも買い物をしている商店街、子供が遊ぶ公園、路地裏にひっそりと佇む古民家。カメラを通してみると魅力的な風景は沢山あることに、住民の方が気づいてくれば、地域活性化への大きな原動力となります。

これらの効果を期待し、県内各地でのFC活動が活発化しているのです。

【埼玉県内のFC一覧】

名称	設立	事務局
彩の国本庄拠点FC	H14.3	本庄商工会議所
埼玉県LS	H14.9	埼玉県
川口FC	H14.11	川口市
秩父LS協議会	H15.7	秩父市
飯能市LS	H18.5	飯能市
北本FC	H19.4	北本市
ヨリイFC	H19.4	寄居町商工会
ふかやFC	H19.4	NPO法人
みやしろFC	H19.7	宮代町
ふじみ野市LS	H19.12	ふじみ野市
めぬまチャンネル	H20.5	市民団体(熊谷市)
あげおFC	H20.5	上尾市観光協会
熊谷FC	H20.10	熊谷市
WASHIMIYA LS	H20.12	鷲宮町商工会
騎西町FC	H21.1	騎西町
所沢市LS	H21.4	所沢市
行田FC	H21.4	行田市観光協会

※FC=フィルムコミッション LS=ロケーションサービス



映画「ヤッターマン」での撮影風景  
飯能市内の商店街を舞台として使用  
(撮影地：飯能銀座商店街)

## 2 撮影適地としての埼玉

FC 活動の活発化と併せるように、本県における撮影件数も大きく増加しています。

以下の表のとおり、県内 FC の支援で撮影を行った件数は平成17年度の140件から、平成20年度の255件へと、3年で2倍近い伸びを示しています。

### 【埼玉県内 FC の支援による撮影実績】

	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
FC 団体数	4 団体	5 団体	10 団体	15 団体
撮影件数	140 件	207 件	224 件	255 件

このように撮影件数が増加している理由としては、県内の各 FC のきめ細やかな支援体制が上げられますが、さらに、本県が地理的条件等に恵まれている点があります。

近年、広告収入等の減少により制作費用が圧縮傾向にある中で、都内から日帰りが可能で出演者の調整が付けやすい本県の立地は、映像制作会社等にとって大きな魅力があります。

さらに、オフィスビルや大学などの近代的建築物から、のどかな牧場や山間の情景にいたる、まさに都会から田舎までの撮影シーン

に対応できる県であることが大きなセールスポイントとなっています。

これらの利点が生かされ、県内の様々な場所で名作や話題作が続々と撮影されています。

なお、以下のホームページで撮影候補地の情報等をご覧ください。

※「埼玉県ロケーションサービス」  
ホームページ <http://saitama-ls.net/>

### 【埼玉県内で撮影された主な作品】

分類	作品名	主な撮影場所
映画	20世紀少年	SKIPシティ 外
映画	ROOKIES	本庄市内
映画	ジェネラルルージュの凱旋	日高市内
映画	ガマの油	深谷市内
映画	ノ子36歳(家事手伝い)	寄居町内 外
ドラマ	つばさ	川越市内 外
ドラマ	坂の上の雲	SKIPシティ
ドラマ	仮面ライダーシリーズ	さいたま市 外
ドラマ	黒部の太陽	鷲宮町 外
ドラマ	MR. BRAIN	埼玉県庁 外

## 3 FC 活動の新たな展開

これまで、各 FC の主な活動内容は、地域に映画等を誘致し、撮影が円滑に進むよう支援することでした。しかし、各地域で工夫をこらした新たな FC 活動の展開事例が出てきています。以下、そのいくつかをご紹介します。

### (1) 地域から世界に通用する映画監督を！

#### ～ふかやフィルムコミッション

ふかやフィルムコミッションでは、深谷市商工会議所と連携し、「ふかや・インディーズ・フィルム・フェスティバル」を毎年開催

しています。これは、才能溢れる若きクリエイターの短編作品を全国から集め、コンペを行う映画祭です。

単に作品の優劣を付けるのではなく、本映画祭出身の監督を、きめ細やかなFC活動で支援していくのが大きな特徴となっています。本映画祭から巣立った入江悠監督は、「SR サイタマノラッパー」で今年の「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」のグランプリを受賞し、韓国の映画祭にも出品されました。

この作品では、大勢の地元住民が出演者やスタッフとして活躍し、まさに地域が一体となった支援を行い世界に飛躍した事例となりました。今後も、映画監督の出現が期待されます。

※「ふかやインディーズ・フィルム・フェスティバル」  
ホームページ <http://www.fukaya-eigasai.com/>



映画「SR サイタマノラッパー」  
©ノライヌフィルム  
(撮影地：深谷市榛沢)

## (2) ロケ地巡りのパートナー ～ヨリイフィルムコミッション

ヨリイフィルムコミッションは、寄居町商工会青年部員が中心となって発足しました。自然豊かな田園風景と、懐かしい街並みや商店街が息づく寄居町の魅力を、FC活動によりさらに引き出すことをねらっています。

昭和レトロの香り漂う町の雰囲気を上手く

取り入れた作品が、映画「ノン子36歳（家事手伝い）」監督をはじめとするスタッフが、寄居町の雰囲気や受け入れ態勢に惚れ込み、ほぼ全編が同町内で撮影されました。

ヨリイフィルムコミッションでは、作品の制作支援に止まらず、映画とコラボした商品（お茶）の開発・販売、さらには、ロケ地巡りのガイドブック「YORII STYLE」の作成・配布も行いました（発行部数2万部）。

このガイドブックは、映画の舞台となった商店を中心に紹介しており、まち歩きやご当地グルメを楽しむための良き案内役となってくれます。これは、地域の活性化に向けて動き出したFC活動の好事例です。

※「ヨリイフィルムコミッション」  
ホームページ <http://yorii.or.jp/YFC/index.html>



映画「ノン子36歳（家事手伝い）」  
©「ノン子36歳（家事手伝い）」Film Partners  
(撮影地：「ノン子橋」寄居町藤田)



地域情報満載の「YORII STYLE」

### (3) アニメの聖地の新たな挑戦！

#### ～WASHIMIYA ロケーションサービス

鷺宮町はアニメ「らき☆すた」の舞台として全国的にも有名で、特に鷺宮神社と、その門前にある「大酉茶屋」には、常に大勢のアニメファンが集まります。その一方で、鷺宮町商工会が WASHIMIYA ロケーションサービスを設立して以来、ドラマや人気ミュージシャンのミュージックビデオなどの撮影相談が次々と舞い込む人気の撮影場所ともなっています。

同商工会では、町の活性化に貢献してくれたファンの気持ちを活かしつつ、さらに町を活気づけるためのドラマ制作事業に着手しました。

全国からドラマ企画案を募集するため、募集告知用の告知映像を制作し、WEB 上で公開したところ、約 1 か月で 12,000 件を超えるアクセスがありました。現在、プロの脚本家の力も借りて台本づくりが進んでおり、「アニメの聖地 鷺宮」の新たな魅力が感じられるドラマに仕上がることが期待されます。

※「鷺宮町商工会ドラマ制作委員会」

ホームページ <http://www.wasimiya.org/drama/>



告知映像が見られる商工会ホームページ  
アニメや漫画のファンならより楽しめます



アニメのキャラクターで飾られた「らき☆すた」みこし

## 4 地域がさらに元気になるために

既にお感じになったと思いますが、FC 活動の内容は大きく変化しています。たとえば、WASHIMIYA ロケーションサービスのよう に、地域の魅力を発信するための映像を自ら制作する動きは、熊谷市や本庄市にも見受けられます。いわば、受け身から自発的な FC 活動へとシフトしてきていると考えられます。

本来、FC は自分たちの地域を活性化させることを一つの使命としています。だとすれば、各地域の特性やポテンシャルを最大限に引き出せるような工夫が今後の FC 活動に求められるのではないのでしょうか。

また、FC 活動を効果的に展開し、各地域における活性化をさらに図るためには、FC 間の連携強化が不可欠になります。これは、映画やドラマの場合、撮影地が複数の市町村にまたがるが多いためです。そのため、撮影情報の共有やエキストラの共同手配などに取り組み、広域的な支援体制を充実していくことが必要となります。

これらのことを踏まえながら、埼玉県全体が活気のある撮影スタジオになることを目指し、引き続き FC 活動の促進に努めていきたいと考えます。